

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 29 日 (2021.7.29)

【公開番号】特開 2019-180775 (P2019-180775A)
 【公開日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-043
 【出願番号】特願 2018-74765 (P2018-74765)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 18 日 (2021.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行う遊技機であって、
 特定領域に特定情報を記憶させる特定情報記憶手段と、
 前記特定領域で記憶している特定情報を出力するための特定情報出力処理を実行する特定情報出力処理手段と、
 前記特定情報出力処理によって特定情報を出力する時間を特定可能な時間情報を時間記憶領域に記憶させる時間情報記憶手段と、
 時間の経過に応じて前記時間記憶領域で記憶している時間情報を更新する時間情報更新手段と、
 前記時間情報更新手段により更新された時間情報が特定情報を特定時間出力したことを特定可能な特定時間情報になったときに、該特定時間情報を前記特定領域に記憶させることにより、前記特定領域の記憶内容を初期化する初期化手段と、
命令内で指定されるアドレスで示される記憶領域に命令内で指定されるデータを格納する第 1 命令を実行する第 1 命令実行手段と、
命令内で指定されるアドレスで示される記憶領域に特定レジスタのデータを格納する第 2 命令を実行する第 2 命令実行手段と、を備え、
前記第 1 命令の実行に用いるデータよりも前記第 2 命令の実行に用いるデータのほうがデータの容量が小さく、
前記初期化手段は、前記第 2 命令の実行により前記特定領域の記憶内容を初期化する、
 遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、
 遊技を行う遊技機（例えば、遊技機 1）であって、
 特定領域（例えば、出力ポート）に特定情報（例えば、出力データ）を記憶させる特定

情報記憶手段（例えば、図 2 の S a 4 の処理を行う部分、図 3 の S b 1 1 の処理を行う部分、図 4 の S c 1 5 の処理を行う部分）と、

前記特定領域で記憶している特定情報を出力するための特定情報出力処理を実行する特定情報出力処理手段（例えば、図 2 の S a 5 の処理を行う部分、図 3 の S b 1 2 の処理を行う部分、図 4 の S c 1 6 の処理を行う部分）と、

前記特定情報出力処理によって特定情報を出力する時間を特定可能な時間情報（例えば、タイマ値）を時間記憶領域（例えば、A レジスタ）に記憶させる時間情報記憶手段（例えば、図 2 の S a 1 の処理を行う部分、図 3 の S b 2 の処理を行う部分、図 4 の S c 7 の処理を行う部分、）と、

時間の経過に応じて前記時間記憶領域で記憶している時間情報を更新する時間情報更新手段（例えば、図 2 の S a 3 の処理を行う部分、図 3 の S b 6 の処理を行う部分、図 4 の S c 1 1 の処理を行う部分）と、

前記時間情報更新手段により更新された時間情報が特定情報を特定時間（例えば、44.8ms）出力したことを特定可能な特定時間情報（例えば、タイマ値「0」）になったときに、該特定時間情報を前記特定領域に記憶させることにより、前記特定領域の記憶内容を初期化する初期化手段（例えば、図 2 の S a 2 で Y のときに S a 5 の処理を行う部分、図 3 の S b 5 で Y のときに S b 1 2 の処理を行う部分、図 4 の S c 8 で Y のときに S c 1 6 の処理を行う部分）と、

命令内で指定されるアドレスで示される記憶領域に命令内で指定されるデータを格納する第 1 命令を実行する第 1 命令実行手段と、

命令内で指定されるアドレスで示される記憶領域に特定レジスタのデータを格納する第 2 命令を実行する第 2 命令実行手段と、を備え、

前記第 1 命令の実行に用いるデータよりも前記第 2 命令の実行に用いるデータのほうがデータの容量が小さく、

前記初期化手段は、前記第 2 命令の実行により前記特定領域の記憶内容を初期化する（例えば、図 2 の S a 2 で Y のときに S a 5 の処理を行う部分、図 3 の S b 5 で Y のときに S b 1 2 の処理を行う部分、図 4 の S c 8 で Y のときに S c 1 6 の処理を行う部分）ものである。

この構成によれば、特定領域の記憶内容を初期化するとき、初期化のための情報（データ）を別途用意する必要がなくなるので、特定領域の記憶内容を初期化するために要するプログラムの容量を削減することができる。